

環境首都北九州市のSDGs モデルタウン門司区を目指して



～故郷を愛する気持ち、身近なSDGs活動から始めよう～

PROFILE

熊沢 真嗣 くまざわ しんじ (門司港 かふえギャラリー源氏屋 代表)

1975年、福岡県北九州市生まれ。国立北九州工業高等専門学校化学工学科卒業、北九州市立大学法学部法律学科卒。環境触媒研究所勤務。自営業にて、学習塾(15年間)、飲食店、自動車とバイクのカスタムショップ。産業用電機品機械品取扱商社勤務。中国国立遼寧工業大学外国語学院にて日本語科教員(3年間)。2017年1月より自営業にて「門司港 かふえギャラリー源氏屋」現在に至る。2020年2月「港町SDGsグループ協会」設立。



1 北九州市(故郷)とSDGsと私について

私が営む門司港かふえギャラリー源氏屋は、着物生地のリメイクなど手作りの作品を販売しています。また、手作り教室を実施して日本の伝統的な文化や技術や物を大切に作る心などを継承していこうと取り組んでいます。

そんな私は2018年11月にSDGsと出会い、とても共感を覚えました。そしてSDGsについて勉強を始め、北九州SDGsクラブに入会しました。

2019年1月11日より門司港初の「SDGs推進店」を掲げ、源氏屋SDGs活動を開始、現在も継続しています。



我が故郷、北九州市は2018年4月にOECD(経済協力開発機構)より「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」(アジア地域で初・世界の9都市・地域)に選定されました。また、市民団体である北九州ESD協議会は2006年から活動しています。さらに、北九州市は「世界の環境首都」を目指して「北九州市環境

首都検定」を実施しています。私は北九州市が世界から注目されている、SDGsは北九州市にとって素晴らしいチャンスだと考え、故郷を愛する気持ちからSDGsに取り組んでいます。

2 私の身近なSDGsの取り組み

源氏屋の取り組みはSDGs3、4、8、11、12に該当します。

<SDGs12>源氏屋の商品は着物生地を再利用した手作り作品なので環境負荷がありません。物を大切にするという日本の精神は、着物リメイクという文化や技術に継承されます。

<SDGs3、SDGs8>源氏屋は委託販売の店です。作品の作家は一般の60代～90代が中心で高齢者の生きがいにもなっています。源氏屋は作家さんとの信頼関係で成り立っています。

<SDGs3、SDGs11>デイケアサービスと連携してお散歩コースに源氏屋を加えていただき、高齢者の方々に楽しんでいただいています。

<SDGs11>源氏屋はカフェを併設して地域交流の

場、世代を超えた交流の場を提供しています。コーヒースタンプのお菓子は地域のお店の物を添えて、「地産地消」、「他店を紹介して相乗効果」を目指しています。

<SDGs4、ESD>手作り教室を実施して、伝統技術や知識や文化の世代間の継承を目指しています。

<SDGs4、ESD>高齢者向けのiPhoneとPCの教室を実施して、世代によるIT技術や情報の格差をなくしたいと考えています。

<SDGs4、ESD>2019年4月から毎月一回のペースで源氏屋SDGsセミナー「持続可能な社会を目指す勉強会」を源氏屋や市民センターにて開催しています。セミナーのテーマは「SDGsとは何?身近なことから始めよう」、「フェアトレード、エシカル」、「ESD、ESG」、「日本の戦時中から戦後の話」、「日本の縄文時代の生活や文化の話」を行いました。

<SDGs11>毎週末、「源氏屋SDGs 朝の清掃活動」を行い、地域の方々と一緒にゴミ拾いや草抜きに取り組んでいます。なぜ、私が清掃活動をするのか?それは地域が美しくなることで門司港に訪れる方々の滞在時間が延び、まわりまわって源氏屋にもお客様が来てくれるかもしれない!という目先の利だけを追わない思考がSDGsだと私は考えているからです。そして、商売に限らず、人生をおくらせてもらっている町や人や土地に「ありがとう」という感謝の気持ちが私の清掃活動なのです。

3 課題

最大の課題は、SDGsの認知度が非常に低いことです。学校でESDやSDGsを学ばなかった世代や、英語に慣れていない日本人にとっては、SDGsやESDやESGといった英語や新しい取り組みは、受け入れられるまでには時間がかかると思います。

最近になってSDGsという名前はTVや学校の教科書やSNSなどにより若い世代を中心に知られ始めました。しかし「SDGsとは何?」を理解し実行できるようになる

には、意識的に取り組み、身につけていく必要があると思います。さらに若い世代にSDGsを教える立場の大人(教員な



ど)も手探りでSDGsやESDを学び理解していかねばならない状況にあります。SDGsを他者に教える立場の人間は、「情報リテラシー、ポジショントーク、トレードオフ(一得一失)」などに注意しながら講義していかねばならないと思います。

地球や世界や外国のことも大切ですが、まずは自分のできる身近なSDGs活動をコツコツと地道に継続することが基本だと考えています。

SDGsは2030年までの『世界共通の目標』であり『誰も置き去りにしない』という共通理念があります。私は個々人の「小さな積み重ねと優しい心」が世界中に広がったときに大きな問題の解決に繋がると考えています。

高度経済成長、大量生産・消費・廃棄、グローバリズム、利益最優先の経済活動や政治によって文明は発展しました。そんな中で人間は自然との調和や環境への配慮を怠り現在の状況があります。地球や自然や他者やすべての生物に対する優しさや思いやりの心を取り戻すことがSDGs達成に必要なだと思います。

最後に、この文章を書かせていただいている2020年現在は、新型コロナウイルス世界流行の真っ最中です。今後、日本や世界は、ますますSDGsの理念や目標を念頭に置く必要が出てくると思います。SDGsの達成には、自分や家族や友人や故郷や地域といった「身近なものを愛する気持ち」が必要だと私は思います。

